



ロックル 大型張ブロック



ロックルの特長

従来の間知ブロック張りは、緩勾配(1:1.0~1:2.0)施工時に胴込コンクリート打設が困難で、ブロックが小型のため施工日数が長期間必要でした。

ロックルは、**ブロック自体が控え厚35cmで胴込コンクリートが必要なく、1.0㎡/個と大型なため大幅に工期を短縮**することができます。

また、即時脱型粗面コンクリートのため、**明度が6以下となり周辺環境と馴染みます。**

規格は350型(全体厚35cm)と385型(板厚35cm)と235型(板厚20cm)の3タイプから選択いただけます。

護岸ブロック緩勾配規格選定一覧表
ロックル

規格	コンクリート種類	ブロック質量(kg)	対応流速(m/s)	明度低減	法面の植生	水際の植生	背後地透水性
235型	粗面コンクリート	431	5.7	○	×	△	×
	7号ポーラス	410	5.6	○	△	○	○
350型	粗面コンクリート	664	6.8	○	×	△	×
	7号ポーラス	632	6.8	○	△	○	○
385型	粗面コンクリート	732	7.2	○	×	△	×
	7号ポーラス	696	7.1	○	△	○	○

×:期待できない
△:ある程度期待できる
○:期待できる

設計対応流速は護岸勾配1:2.0・設計水深5.0mでの計算値です。

間知ブロックの場合、
100㎡施工時：830～1000個使用
のところが・・・



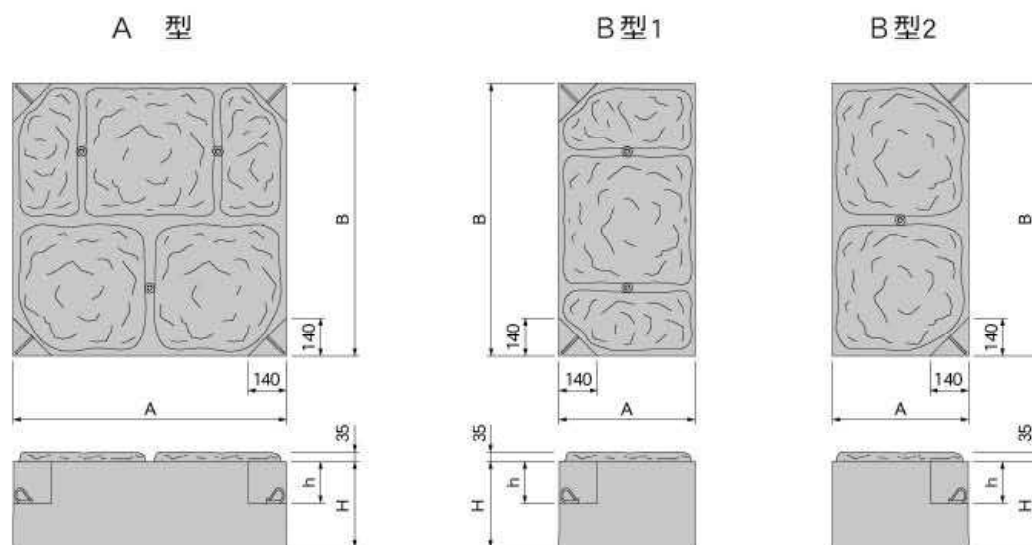
ロックルの場合、
100㎡施工時：100個使用と
大幅に工期を短縮可能



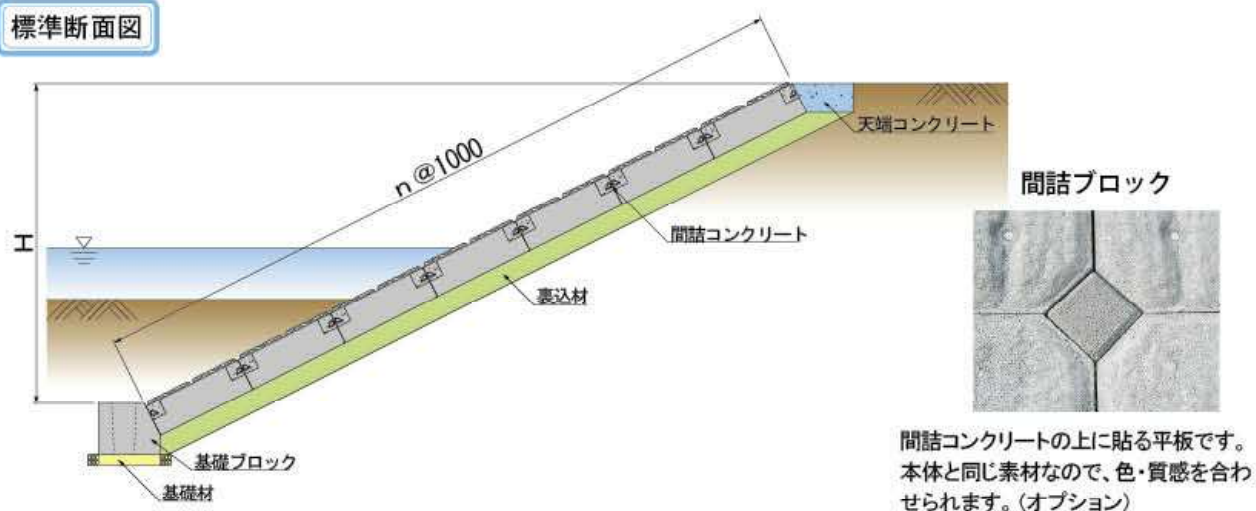
施工例



単体図



標準断面図



呼び名		参考質量 (kg)	価格 (円)	寸法(mm)				間詰コンクリート量 (m ³ /個)	備考
				A	B	h	H		
235型コンクリート	A型	431		1000	1000	125	200	0.005	粗面コンクリート
	B1・B2型	213		497	1000	125	200	0.002	
235型ポーラス	A型	410		1000	1000	125	200	0.005	7号ポーラス
	B1・B2型	202		497	1000	125	200	0.002	
350型コンクリート	A型	664		1000	1000	150	315	0.006	粗面コンクリート
	B1・B2型	328		497	1000	150	315	0.003	
350型ポーラス	A型	632		1000	1000	150	315	0.006	7号ポーラス
	B1・B2型	312		497	1000	150	315	0.003	
385型コンクリート	A型	732		1000	1000	150	350	0.006	粗面コンクリート
	B1・B2型	365		497	1000	150	350	0.003	
385型ポーラス	A型	696		1000	1000	150	350	0.006	7号ポーラス
	B1・B2型	347		497	1000	150	350	0.003	

製品明度

規格	コンクリート	ポーラス
平均明度	5.5	5.0
証明書番号	0510号	0423号

製品テクスチャー

規格	コンクリート	ポーラス
輝度の標準偏差	32	43
証明書番号	0302号	0064号



施工手順



① 基礎コンクリート打設または基礎ブロックを敷設



② ブロック下が裏込材の場合、所定の厚さで敷き均し転圧する。



③ 吸出し防止材の場合たるみの無いよう敷設する。



④ ブロックは専用の吊り金具を確実に取り付ける。



⑤ ワ이어長さを勾配に合わせ製品を据え付ける。



⑥ 製品配列



⑦ ブロックどうしを専用金具で連結する。



⑧ 連結部は間詰コンクリートを充填する。
間詰ブロックを使用する場合はこの上に貼る。

施工例



天満漁港(愛媛県)



白川(熊本県)



那賀川(徳島県)



筑後川(福岡県)



下府川(島根県)



小丸川(宮崎県)